

事務事業名		一般被保険者療養費給付事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	16340	国保(事業)	2	1	3	一般被保険者療養費給付費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和33年度～ 年度		根拠法令 条例等	国民健康保険法					
							市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
							任意的事業・義務的事業		義務的事業		
							実施方法		一部委託		
						事業分類		現金・現物給付事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
被保険者証の提出ができないために療養の給付が受けられなかった場合や、コルセット等の治療用器具代、あんま、はり、きゅう、マッサージ師の施術を医師の同意を得て受けた場合など、医療費用全額を自己負担した場合に、事後において申請により現金をもって被保険者に保険者負担分を支払う事業です。			左記に同じです。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			延べ給付件数	件	12,795	13,415	14,100			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
国民健康保険一般被保険者(医療機関等)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			一般被保険者数(年度平均)	人	34,778	33,921	33,100			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
必要な医療が受けられ、健康な生活が送れるようにします。また、通常医療サービスの現物給付を受ける一般被保険者との公平、公正を図ります。			1件当り給付額	円	6,931	6,629	6,133			
			1人当り給付額	円	2,550	2,622	2,613			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			1人当たりの医療費の伸び率	%	3.7	1.5	2.8			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円	21,794	22,236	21,474			
	県支出金	千円	4,864	5,830	5,207			
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般会計	千円						
	その他	千円	6,053	32,177	30,585			
	一般財源	千円	55,975	28,692	29,213			
	事業費計(A)	千円	88,686	88,935	86,479	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	88,686	負担金	88,935	負担金	86,479
	人件費	人	1	1	1			
	のべ業務時間	時間	720	720	720			
人件費計(B)	千円	2,802	2,838	2,838	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	91,488	91,773	89,317	0	0		

事務事業名	一般被保険者療養費給付事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和34年1月、現行の国民健康保険法の施行にともない始まりました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成12年の改正により、被保険者が海外で負傷したり、疾病にかかった場合の費用についても、療養費の支給の対象とされました。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	海外療養費の不正請求事案が複数明らかになっていることから、不正請求に対する一層の対策が必要とされています。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	現物給付を建前とする医療給付を受けられなかった場合にも、安心して療養を受けることができるための補完措置で、健康な生活を送れるという目的に結びついています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	国民健康保険法第54条に「保険者は、療養の給付等を行うことが困難であると認めるときなどには、療養の給付等に代えて、療養費を支給することができる。」と規定されている法定事務で、市が行わなければならないと認められませんが、給付にあたって、事務の一部を国民健康保険連合会に委託しています。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	保険者が被保険証の提出ができない、緊急その他やむを得ない場合においても、必要な支給を行うといった国民健康保険の目的に基づいて行われている事務で、対象と意図は妥当です。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	法令で定められた給付を行うもので、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	診療報酬給付相応の負担金の支出のため、裁量の余地はありません。
	削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	支給を受けるための原資となる国民健康保険税や保険医療機関等で支払う負担金の一部が受益者負担となっていますが、国民健康保険税率は、医療給付の需要額に応じて、見直す必要はあると考えます。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できません。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			